

# 常任委員会 審査 レポート

各委員会に付託された議案等について、  
議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

## 総務文教常任委員会 岡田竜一 委員長

### 通級指導教室の設置 教育センターから裏館小学校へ

議第7号嵐南保育所移転改築建築本体工事請負契約の締結では、2階にゼ口、1歳児の部屋を設置することについて、検討はしたが、既存建物を活用することからこのような配置にならざるを得なかったが、畳のスペースをとって3、4、5歳児たちが遊ぶ遊戯室と区別でき安全に遊ぶことができることとした。

議第11号平成28年度三条市一般会計補正予算では、国庫支出金の学校施設環境改善交付金が不採択になったことについて、子どもたちの命に直接関わる耐震化事業等を優先的に採択する国の方針が示され、改築事業や空調設



備関係といった教育環境改善事業への補助の大部分が全国的に見送られたためであるとのことでした。

また、通級指導教室の設置が教育センターから裏館小学校に変更となったことについて、スペースの確保など学校との調整が整ったこと、また通う子ども一人一人が違ったケースであり、担当する教師の配置などさまざまな問題があり今年度のサテライト教室は見送らせていただいた。利便性の向上は課題として今後も検討していきたいとのことでした。

## 市民福祉常任委員会 笹川信子 委員長

### 介護サービス事業所に 2台の介護ロボットを導入

議第11号平成28年度三条市一般会計補正予算では、老人福祉センター栄寿荘の設置から22年が経過する空調設備の修繕について、設備の入れ替えには1,000万円を超える費用が必要となるため、今回は約130万円をかけて修繕することとしたが、今後は財政面も踏まえた計画的な対応が必要と考えているとのことでした。

議第13号平成28年度三条市一般会計補正予算の総務費では、まちなか交流広場ステージえんがわについて、当面は市が継続的にイベントを実施し、まちなかのにぎわいを創出していく計画であるとのことでした。



また、民生費では、介護ロボット導入に対する補助について、三条市からは4法人、6事業所の11台分で応募したが、全国から多数の応募があったため、補助の上限が大幅に減額され、各法人の負担が必要となったことから、最終的な応募は2法人の2台分になったとのことでした。なお、導入される介護ロボットは1台約180万円で、介護従事者が装着することにより腰への負担を軽減させることができるものとのことでした。

## 経済建設常任委員会 坂井良永 委員長

### 露天風呂改修と自主事業で いい湯らていへさらなる誘客を

議第11号平成28年度三条市一般会計補正予算の商工費では、三条鍛冶道場に設置する展示ケースは、将来の展示販売を視野に大きめのものを購入する予定であり、三条鍛冶道場と検討を重ねているとのことでした。

議第13号平成28年度三条市一般会計補正予算の商工費における伝統的地場産業振興事業費では、燕三条 工場の祭典に向け、燕・三条両市が10台ずつ自転車を購入して案内所に設置し、その後三条市としては観光利用等に役立てたいとのことでした。

観光施設等整備事業費では、いい湯らていの露天風呂改



修に当たり、少しずつ改修するほうがよりインパクトがあるのではないかという考え方から、露天風呂の利用が落ち込む時期を活用し、年次的に改修を進めていくとのことでした。

また、いい湯らていは自主事業として地域の観光地を巡る周遊バスの運行や、地域の食材等を極力取り入れたサービスの提供、日替わりイベントの実施、栄地区への送迎バス運行、宴会部門による営業活動などにより、さらなる誘客を図っているとのことでした。



子育て拠点施設「あそぼって」

**問** 月額5万円、年額60万円の育児支援金を支給してはどうか。また、保育所、幼稚園の義務教育化を検討してはどうか。  
**答** 人口減少の解消方策として、一つの施策で劇的に改善するのは難しく、子育て支援の環境を着実につくり上げていくことだと思っている。また、保育所、幼稚園の義務教育化については、とにかく三条市でできることから実践していったほうが良いと考えている。

まちなか交流広場ステージえんがわについて

**問** 総事業費、財源、償還、今後の運営予定はどうか。  
**答** 工事費は1億3700万円余り。ひまわり債6170万円を償還、今後はスマートウエルネス推進、食を通じての交流促進。当分光熱水費は市で負担。飲食サービス事業安定のため委託事業者と連携する。

**問** 床の構造か、風が下から吹き上げる。飲食時に問題がないのか。  
**答** 食堂事業者が衛生管理の指導をしてまいりたい。

市長の成人式式辞について

**問** 市長は悪いことでもよい、法に触れなければと言われた。市長発言としては大問題。反省はないか、真意を聞きたい。  
**答** 全体の私の文脈でご理解いただきたい。新成人を信じて、ひねくれた考えを持っている人はいない。正面切って素直に考えてください。

栄体育館駐車場の拡充を

**問** 体育館の駐車場が狭すぎる。公民館等の駐車場と区分けし確保している。  
**答** 保している。



栄体育館

米の生産調整について

**問** 平成30年から米の生産調整は廃止されるが。  
**答** 国の動向を注視したい。円滑な需給調整の推進は必要。

地区協議会の在り方

**問** 三条市総合計画に関する諮問だけでなく、地区住民の意見が反映できる組織に改善を図るべき。

**答** 今の枠組みの中で住民要望を把握し、応えていきたい。

サービスセンター機能の強化について

**問** 栄サービスセンターの職員を増やし、責任と権限を与えた職務にしていきたい。  
**答** 現体制において機能は十分果たしている。

空き家対策

**問** 放置することで不適切な状態にある特定空き家について、どのように対処されるのか。  
**答** 指導、助言、勧告を。代執行は考えていない。

介護保険制度について

**問** 4月から訪問介護と通所介護を三条市の総合事業に移行したが、問題はないのか。  
**答** 支障なく運営されている。

図書館の広域サービスの拡充を

**問** 見附市図書館とも相互に利用できるよう改善できないのか。  
**答** 見附市と話をする機会を持ちたい。